

cdmaOne C3003Pへの着信を拒否/許可する(着信拒否/許可)

着信を拒否すると、相手には呼出音が止まって接続できなかったことをアナウンスでお知らせします。なお、アナウンス中に電話を受けることはできません。

- ・着信拒否/許可を指定するアドレス帳No.や電話番号は、アドレス帳のサブメニューからも登録することができます。(P84)

指定番号拒否

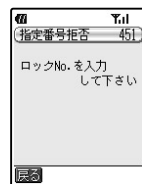
(お買い上げ時) OFF

指定した電話番号からの電話は、つながないようにします。(指定できる登録件数は20件まで) 相手から発信番号が通知されなかった場合は着信拒否ができません。

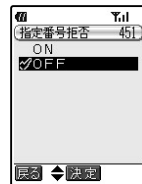
4

メニュー機能の使いかた(ロック/制限/拒否機能を利用する)

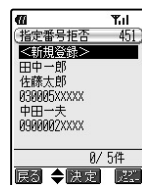
1 を選択して
 4 5 1 を押す



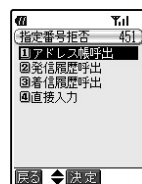
2 ロックNo.を入力する
 ・入力したロックNo.は「_」で表示されます。
 ・現在の設定に「」が表示されます。
 ・「ON」を選択すると (再生) を押してアナウンスの内容を確認することができます。



3 「ON」を選択し、
 (決定) を押す

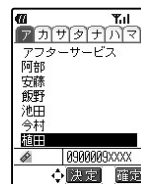


4 「新規登録」を選択し、
 (決定) を押す



5 で入力方法を選択し、
 (決定) を押す

- ・アドレス帳呼出：P90
- ・発着信履歴呼出：P50～51
- ・直接入力：キーで直接電話番号を入力。



例)アドレス帳呼出

6 アドレス帳呼出または発着信履歴呼出を選択した場合
 一覧表示中に (決定) を押す
 または (決定) を押して内容を表示中に (決定) を押す
 直接入力を選択した場合
 電話番号を入力後、
 (決定) を押す

- ・「指定番号拒否 ON 設定しました」と表示されます。解除するときは手順3で「OFF」を選択し、 (決定) を押す
- ・「指定番号拒否 OFF 設定しました」と表示されます。

設定のみの場合は手順3までの操作を行う

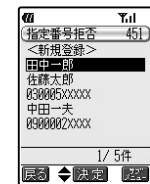
を押すとアイコン画面に戻ります。

「指定番号拒否」の指定番号を削除する

指定番号拒否で設定した電話番号を削除します。

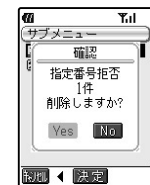
1 P142の手順3の画面で
 削除したい電話番号を選択する

- ・全件削除したいときは手順2へ。



2 (サブメニュー) を押し、
 「1件削除」または「全件削除」を選択して (決定) を押す

- ・1件削除：選択した指定番号のみ削除します。
- ・全件削除：すべての指定番号を削除します。



3 「Yes」選択し、 (決定) を押す

- ・「指定番号拒否 全件(または1件) 削除しました」と表示されます。
- ・削除を中止するときは「No」を選択するか (キャンセル) を押します。

- 指定したアドレス帳No.に電話番号が登録されていない場合は、指定番号拒否に登録できません。
- 指定した電話番号は、設定を「OFF」にしても記憶されています。
- 指定先のアドレス帳No.に複数の電話番号が登録されている場合は、登録されているすべての電話番号が指定番号拒否の対象となります。
- 着信転送サービス(「話中転送」「フル転送」以外)(P302)もしくはお留守番サービス(P290)を設定していても、指定番号拒否が優先されます。
- 割込通話(P308)の着信は着信拒否をすることができません。
- 着信許可/拒否を設定中に、電源OFFからONにすると「制限設定中」の確認画面が表示されます。
- 指定番号拒否に登録したアドレス帳No.や電話番号を指定番号許可(P145)に登録することもできます。ただし、指定番号許可と指定番号拒否を同時に設定することはできません。
- シークレット設定したアドレス帳はシークレットモード(P148)設定中に設定できません。

4

メニュー機能の使いかた(ロック/制限/拒否機能を利用する)